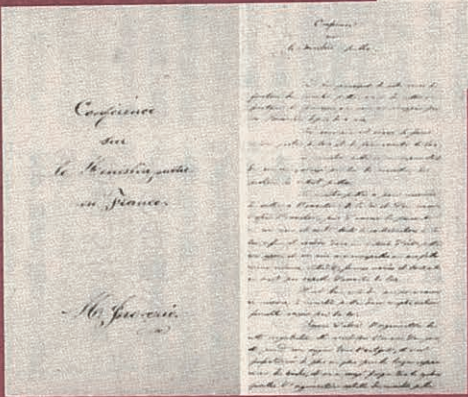
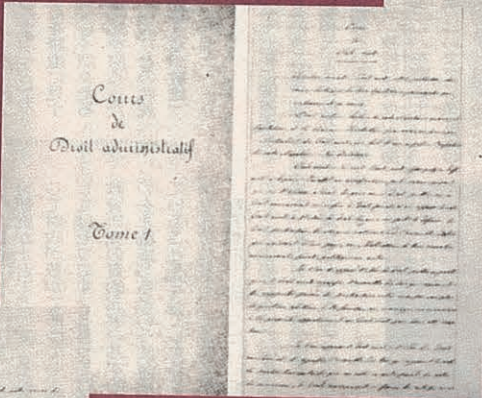
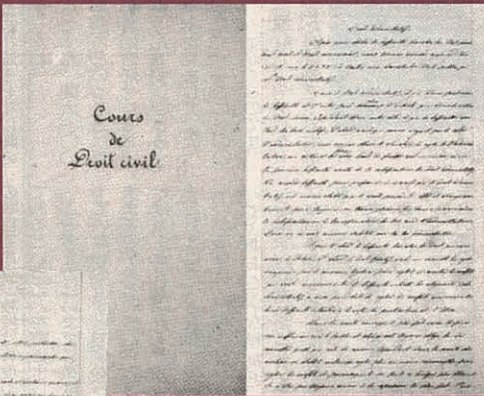


井上操自筆仏語講義ノート(井上家所蔵)司法省法学校におけるボアソナードの「(自然法)開講の辞」(明治七年四月九日)の構想に最も近い講義ノート。聴講した司法省法学校生徒井上操が自らの手で再構成した美しいペン字の仏語ノート。「民法講義」「行政法講義第一巻」「フランスにおける検察官についての会議」の三冊(写真上・中・下の順)からなる。ボアソナードは「開講の辞」で民法について物権法と債権法とは自分が担当し、家族法は「日本二住スル既二二年二及」ぶスケが担当すると述べる。「開講の辞」を付した井上操訳「性法(自然法)講義」には家族法が欠如しているが、この「民法講義」仏文ノートには家族法の部分が多量に含まれている。右ノートがボアソナードの開講の講義構想に最も近いという所以である。現在はボアソナードの講義の仏語テキストは存在しないのだから、この講義ノートは極めて貴重な意義を有する。昨夏、井上操墓参のため、市川訓敏、市原靖久両助教授と共に信州松代を訪れた際、井上家御遺族の方から閲覧を許され、研究を託されたものである。現在千藤洋三、市原靖久両助教授によって翻訳と研究が進められつつある。(石尾芳久)

ら、この講義ノートは極めて貴重な意義を有する。昨夏、井上操墓参のため、市川訓敏、市原靖久両助教授と共に信州松代を訪れた際、井上家御遺族の方から閲覧を許され、研究を託されたものである。現在千藤洋三、市原靖久両助教授によって翻訳と研究が進められつつある。(石尾芳久)



井上 操



創立者の群像のレリーフ

『勉強家』井上操のこと ・創立指導者の精神を想う・

石尾 芳久

井上操(一八四八—一九〇五)は、関西法律学校創立者グループの中で最も指導的役割を果たした人である。ボアソナードの直弟子であり、民族の相違をこえて真の意味の正しい法の発見に努力したボアソナードの自然法思想を最もよく継承し、多数のすぐれた著作をのこした法学者であり裁判官であった。当時の「法律家十二傑」の中で「勉強家」として投票されているが、「勉強家」こそ井上の生涯を象徴するにふさわしい言葉である。井上は世に報いられることの少なかった人であるが、そのようなことを意に介さない「勉強家」であった。井上操が、仏語でボアソナードの講義を再現し得たこと自体、彼が如何に卓越した語学力の持ち主であったかを立証するが、これは、「勉強家」でなくしては不可能である。「性法(自然法)講義」「刑法提要」の訳書のほか、数十冊の著作がある。裁判官の職務の傍にこれだけの仕事をしている。この「勉強家」の根本にある精神は何であったのだろうか。それを端的に表現すれば、法学こそ日本人の権利を確立する実践的学問であるという確信であった。彼が東大教授を五カ月余りでやめ、明治十九年大阪事件の裁判長として来阪したのもこの確信による。井上はボアソナードの講義に没入した。しかしそれは皮相なフランス法学の模倣とは全く異なる。ボアソナードの講義の根底にある自然法思想—真の意味の正義の法、に深い共感をもったからである。西欧法は自然法の具体化ではある。しかし、それは決して十分ではない。自然法を探究する過程にある。自然法を探究する過程にあるという点ではあらゆる民族は同等の立場にある。この自覚にもとづいて井上はボアソナードの講義に没入したのである。人権への思索を深めることが自然法を探究するのに重要な手掛りを与えるものであることをボアソナードは説いた。創立直後(明治二十二年)、関西法律学校を訪れたボアソナードが学生たちに向かって諸君の先生は自分の弟子であるから、自分は諸君の父の父、すなわち祖父であると話し、教育による思想の継承の永遠性を説いている。ボアソナードの『行政法講義第一巻』の中に、すべての国において「真正の権力」をもつものは「国家の人民」であるという言葉がある。この言葉は明治維新の余熱がのこっている当時において、井上操をはじめとする熱意のある司法省法学校生徒たちを奮起せしめ、人民のための実践的学問に没頭させる原動力となった。

本学の創立者たちはこのような人々であったのである。

(法学部教授)

創立100周年記念特集

●1面、「勉強家」井上操のこと 千里眼2・3面 創立一〇〇周年を祝う—学長・理事長記念対談— 創立一〇〇周年記念式典について 本学一〇〇周年におもむ 4面 創立一〇〇周年記念事業の概要 5面 創立一〇〇周年記念行事 6・7面 関西大学一世紀の歩み 関西大学略年表 8・9面 関大第二世紀を展望する 10・11面 大学人事 新役職者紹介 学位取得 昭和62年度在外研究員の紹介 大学院合格者決まる 来学抄信 地方教育懇談会終わる 中国語コンクールで銅賞を受賞 苦情絶えぬ 重通学入害 スポッ週間 学生諸団体の行事予定 総合図書館、秋の展示と講演会 天六分館も電算化 学会 人権問題に関する連続講演会 12面 公開講座のお知らせ 編集後記



「新人類」という言葉が去年あたりからはやり始め、大流行すると思つてもなく、もうすたれ始めている。流行とは、はかないものだが、好きになれない言葉は早くすたれてむしろ小気味が良い。流行のきつかけとなったのは某一流雑誌の連載物であるが、以後マスコミに、「何を考えているのかさっぱりわからん若いもん」が大勢登場し始めた。テクノ・コラムニストだとか、謎々プログラマーだとか、とにかく肩書だけは大変奇抜である。しかし、その発言内容はおそろしく月並で平凡。たまに変わった事を言えば冗談のような事しか言わない。とり上げ方にもよるが、面白半分にとり上げて新しい新しいと騒ぎ立てる企画も少なくない。一方、「新人類」という言葉が流行したのはむしろ、一般の若者を批判する言葉としてであった。指示待ち人間、ひたすら安定指向で現状維持の保守派、美的感覚に生きて人生をまぐる演劇のように考え、目的意識に欠け未来を信じない。こんなのはもう我々と価値観の違う、コミニケーション不在の「新人類」だ、という具合である。だから「新人類」という言葉には、世代間のギャップを強調し、若者を拒絶し切り捨てようというニュアンスがある。一方で、奇妙な言動をする若者をとり上げて煽り立て、一方で自分達の社会が生み出した他ならない若者を「新人類」として切り捨てよう、間違っているのはむしろ「旧人類」の方ではないか。若者達がどういふ奇妙な性格を持っていたか、次代を担うのは確実にその若者達である。一生懸命育て上げたければならぬ。もっと大真面目に、「近頃の若いもんは」と言おう。関西大学は若者達を育て続けて一〇〇周年を迎える。(J・O)

する記念会館

(7) 記念映画の製作

お寺の間借りから四十二万平方メートルの大学園に。先人たちの二〇〇年の苦闘の歴史でもある。いま千里山に六学部と大学院、高校、中学、幼稚園⇨写真左⇨、天六学舎に学部2部⇨写真下⇨を擁している。

関西大学略年表

[illegible]

15・10・23	14・2	13・4・9	11・4	6・5	4・12・9
					第一回海峽留學生歐米派進す。
					財團法人関西大学と改称。改称する。
					大学昇格促進のため、学生組合が奈良・芝山に集まり、血闘の
					契約状を作り、学校に提出する。
					千里山に、校舎完成し、五月から授業開始。
					大学令にて関西大学として認可される。法学部、法律、政治の
					二学科。商学部、商学としての学部と天字科を併置。
					関西大学を歌を連日。服部善教作詞、山田耕伴作曲。
					商学部にて経済学部、専門部に文理科を増設する。
					商学部を経済学部と改称する。
					法学部を法学部と改称し、文学部、哲学、英文学の二専攻を
					増設する。昭和二年四月開講。
					千里山グラウンド現第グラウンド、クラブハウス現保健管理
					センターが完成しその落成式を兼ねて第一回大会が行われ
					る。この大会学生総数一千余名。

[illegible]

七十年を機に充実進む
学生増と内容充実に伴って、学舎移転が続く。大正
十年、現在の千里山に移った。昭和二年
には住友本店建物を移築して千里山
学舎本館を建てた。写真右円形。創立
七十年を迎えに当り、同学
舎を取り壊し第3学舎「写真
右端」を新築した。この
二から機と共に
教育、研究面の
充実が急速
に進ん
だ。

西大の歩み

一〇〇周年のシンボル
昭和十六年四月に開館した総合
図書館「写真上」は、構造、機能
とも図書館の理想像に迫り、規模
は大学図書館として有数のもので
ある。創立一〇〇周年の輝かしい
シンボルといえる。ゆつりとし
ては学生諸君の利用を待っている。
図書館の地下一、二階に設けた
情報処理センター「写真上」も
情報化時代にふさわしい最新設備
である。コンピュータは研究や専
門教育に使われるだけでなく、
一般教育科目に「情報処理論」が新
設され全部が参加できるとよう
になった。

関西大学1世紀

昭和に入って軍国
色が強まり、学生は
軍事教練に汗を流し
た。写真左。やが
て学業を中断して戦
場へ送られて行った
が、還らぬ青年も多
かった。

十一年 現在の千里に落ちいた。昭和十年には住友総本店の建物を移築して千里山書本館を建てた。『写真右形』創立七十周年を迎えるに当たり、同学舎を取り組んで第一「学舎」写真右端に新築した。このころから施設と共に教育・研究面の充実が急速に進んだ。

女子学生の第 1 号は大正十二年
法学部に入った北村兼太郎だ。つた
つた北村は卒業後、多々、飛行
写真記者となり著作は多く、飛行
機操縦を習うなど、先端をいく女
性だった。当時は女性に阻む制度
上の壁があり、北村も躊躇ってあ
った。本来の男女共学になったの
は昭和二十一年からだが、二十年
代はその数は少なかった。写真記
者下 1。現在は約三千五百人にの
ぼる写真下 1。

戦争が終わった。学生たちは戦場や勤労動員工場から学園へ帰ってきた。戦争中、軍隊が使っていた学舎は荒れ、衣食住窮乏の苦しい学生生活だった。

立ち上がった。学友会を結成し、文化・學術研究のクラブも活動を始め、スポーツ各部は用具不足にめげず、素足で走り回った。

新聞部は二十一年六月、復刊第一号を出した『写真下』。紙がない、金もない中で苦心した。

開校三年後の明治二十二年九月十七日、第一回卒業式が行われた。卒業試験は厳しく、合格したのであるが、わずか十七名であった。有志で書いた記念写真「左」には、本学博士第一号、武田實英「前列左」や貴族院議員になった内田重「同四人目」の姿がみえる。

喜びも苦しみも

大正初めの教室には紋付羽織もまじって和服の学生が多い。写真右。講義しているのは織田萬博士。

大正初めの教室は紋付羽織もまじって和服の学生が多い。写真右に講義しているのは織田薫博士。

學園復興に燃える

昭和二年八月十日、太平洋戦争が終つた。学生たちは戦場や労働動員場から学園へ帰つてきた。戦争中、軍隊が使つてた学舎は死に、衣食住窮乏の苦しい学生生活だった。

混乱と虚脱の中から学生たちは立ち上がった。学友会を結成し、文化・學術研究のクラブも活動を始め、スポーツ各部は用具不足にめげず、素足で走り回った。

新聞部は二十一年六月、復刊第一号を出した『写真下』。紙がない、金がない中で苦しいた。



全国的な学園紛争の中で、本学でも昭和44年、「全共闘」学生が関大会館を封鎖、暴力事も頻発し、全学集会も開かれた。

昭和58年の中国・遼寧大学を皮切りに＝写真＝外国5大学と学術交流協定を結び、国際交流に力を入れている。

昭和61年3月の卒業生は1・2部合計4,820名。
21世紀へ向かって飛び立った。

58	3	16	自衛隊の輸送車に上乗せ、連騎の乗止
57	3	16	中国陽明の軍事大学と学術交流の協定に調印
56	3	16	海軍復旦大学と協定を結ぶ。
55	10	14	創立。『教育政策』と『記念文庫』発刊、セミナーハワウの建設、研究、記念文庫と其金の設定などが決まる。
54	59	10	続図書館情報報道センターの落成を行つ。大田図書館とは提携、機能ともわが国のトップクラス。
53	10	28	六十一年四月に開館
52	60	6	関西大学学人問題研究室(部内問題研究室を改組改称する。
51	61	1	アメリカ合衆国のジョージ・ワシントン大学と学術交流の協定を調印。
50	61	1	関西大学教職課程研究センターを開設する。
49	4		ベルギーのカトリック・ルバン大学と学術交流の協定に調印。
48	5	5	中国瀋陽の東北工学院と学術交流の協定に調印。
47	6	1	創立。一〇〇周年記念典を挙げる。
46	11	2	

(年史資料編纂系)

56	51	40	59	48	47	46	42	39	37	10
・5	・4	・4	・4	・4	・3	・3	9	4	・4	
					4		1			

経済、政治研究を開設する。
名古屋造道大学の学内通過計画（全学的反対運動起る）。トンネルの
案を解決をみた。
大学院・修士課程商学、工学の二研究科と博士課程商学研究科を
開講する。
工業技術研究所を開設する。
大学院・博士課程工学研究科を開講する。
専門図書館を開館する。
社会学部を設置する。
視覚教育室を開設する。
電計算機を開設する。（五十七年西月に改組し、情報処理セン
ターとなる。）
大学院・修士課程社会学研究科を開講する。
考古学研究室が飛鳥松塚樺子氏の発掘調査におたり、極彩色の壁
画を発見、その成果は注目された。
大学院・博士課程社会学研究科を開講する。
部若問題研究を開設する。
飛鳥文化研究所・植田記念館を開設する。
一般教育等研究センターを開設する。
学務課分室国際交流を開設する（五十七年四月、国際交流課
なる。）

[illegible]

	14・	13・		11・		10・	9・	4・
	2	4	8		6	5	3	12
	・				・	・	・	・
	23		9		5	16		9

第一回海外留学生学欧米派遣す。

財団法人関西大学を改称。改称す。

大学昇格促進のため、学生たちから奈良・三山に集まり、血闘の闘争状を作り、学校に提出す。

千里山に、校校完成し、五月から授業開始。

大学令により関西大学として認可される。法学部、政治の二学科。商学部、商業学科の二学科と大文学科を設置。

関西大学学歌を制定。服部嘉香教授作詞、山田耕伴作曲。

商学部を経済学部、専門部を文学科を増設する。

商学部を経済学部へ改称する。

法学部を文学部へ改称し、文学科、哲学科、英文学の二専攻を増設する。昭和二年四月開講。

千里山グラウンド現第グラウンドにクラブハウス現保健管理センターが完成し、その落成式を兼ねて第一回大学祭が行われる。このころ在校生総数二千余名。

【昭和】

25	12	14	26
36	11	18	37
37	8	5	38
38	1	6	39
40	9	1	41
42	12	14	43
44	9	12	45

司法省指定学校となり、卒業生に判事登用試験の受験資格が与えられる。

社団法人組織の設立を認可される。

専門学校令による専門学校として認可される。

西区江戸堀に洋式木造三階建の新校舎が完成し移転。

経学科を増設し、学制を法法律学科と経済学科に改める。在学生総数六四〇名。

社団法人私立関西大学と改組、改称する。

商学学科を増設する。

学生会、自治会、を結成する。福島舎に移った四十一年一月より活動を始め。

北區上福島に新学舎完成し、移転する。

学生数の増加（在学生二、二六名）にともなう増築校舎が完成する。

【大正】

関西大学略年表

関西大学では、所謂「開かれた大学」構想に基づき、近隣自治体等の協力も得て、従来よりこの分野の活動に積極的に取り組んできたが、今秋は、創立一〇〇周年記念行事と運動して、とりわけ意欲的で多彩な内容が盛り込まれている。その全容を紹介するとともに、今後、いっそうの関心が寄せられるよう、期待する。（大西）

本学と吹田市教育委員会との共

催で開講してきた「吹田市民大学
教養講座」は、今年で十五年目を
迎えた。

春期分は、「教育」を問い直
す、「情報化社会に生きる」、「法

の招待」

※時間は午前十時二十分から十二時十分

テ

※時間は午後一時二十分から三時十分

テ

※時間は午前十時二十分から十二時十分

テ

※時間は午後一時二十分から三時十分

今春に引き續き 本学と大隈財

記念との共催で、「おおさか文化
ター」（住友中之島ビル五階）。

象に、「NHK特集『大黄河』公開

※時間は午後六時三十分から八時三十分

Figure 1. The effect of the concentration of the inhibitor on the rate of polymerization of the monomer.

本学と赤穂市教育委員会との共
いる。

※時間は午後一時三十分から三時三十分

三枚送局上の主筆で一般成人を対

象に、「NHK特集『大黄河』公開講演会」と「NHK特集『国宝への旅』公開講座」が十月一日から開催されている。

富田村市立金剛公民館が主催

富田林市立金剛公民館が主催し、本字が協賛する「金剛公民館 成人大学講座」が、「日中交流の足跡を求めて——中国の歴史と日本人——」を総合テーマに、一般成人を対象として、九月二十四日から

泊園記念会、東西学術研究所お

催の第26回泊園記念講座が、「中国文化と日本」を総合テーマに、大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル五階）で、十一月十二日から開講される。

※時間は午後七時から八時三十分

泊園記念会、東西学術研究所お

※時間は午後六時から七時三十分

程	テ
---	---

※会場は 十月二日 二日 中小企業センター

程	テ	一
---	---	---

※会場は、**尼崎市立北図書館**。時間は午前10時～正午

► 編集後記 ◀



関大百歳のいま、この記念特集号をお届けできるとを心から喜びたい。

こらんの通り、特集記事がめじろ押し、紙面も増ページ、内味がたっぷりとしたものになったといささか自負している。

一事が万事、この充実した自由な気風こそ、関大が誇るべき地力ではないか。本号が、すべての関大入生が新たな次の世紀をめざして、地道な努力を持続していくうえで、多少なりとも励ましの材料になれば幸甚である。

なお、十月に広報委員の
交替があった。林英夫、永
沼博道、芝田隼次、市川訓
敏の旧委員にかわって、高
瀬武典、井上昭一、山田寛
貴子、高森八郎の先生方
が新しく委員になられた。